

## 環境問題に関心がある550名を対象に調査を実施！

**2023年の「電気自動車（BEV）」保有率は  
前年比3.6ポイント増の11.8%  
買い替え検討者は前年横ばいの34.4%に**

次に買い替えを検討するのは「ハイブリッド自動車（HEV）」が5割超

株式会社KINTO（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：小寺 信也）は、現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心があると回答した方550名を対象に、昨年引き続き「電気自動車（BEV）への関心度調査2023」を実施しましたので、お知らせいたします。

※BEV：Battery Electric Vehicle（電気自動車）

## ■調査サマリー

## 電気自動車（BEV）への関心度調査2023

**TOPIC 01** 環境関心層の電気自動車（BEV）保有率は**11.8%**、  
昨年より**3.6ポイント**アップ

**TOPIC 02** 次に買い替えを検討するのは、**56.7%**がハイブリッド車（HEV）  
で依然として人気が高く、**34.4%**が電気自動車（BEV）で前年横ばいに

**TOPIC 03** 政府が進める「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%実現」の  
取り組みに、**54.9%**が「ポジティブ」、**26.9%**が「ネガティブ」な印象

## ■調査概要

調査概要：電気自動車（BEV）への関心度調査2023<定点調査>

調査方法：IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画によるインターネット調査

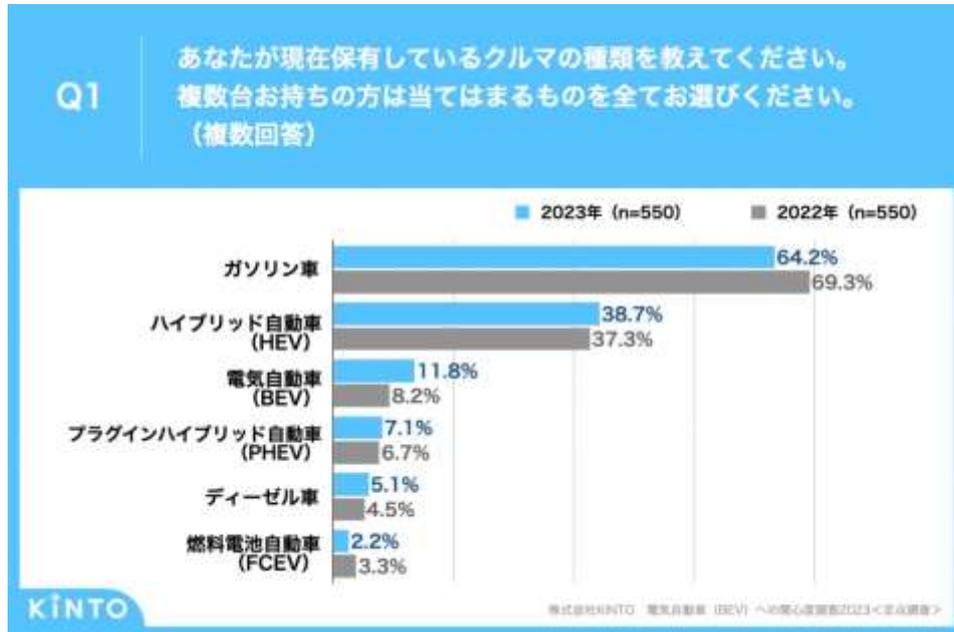
調査期間：2023年11月15日～同年11月24日

有効回答：現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心があると回答した方550名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

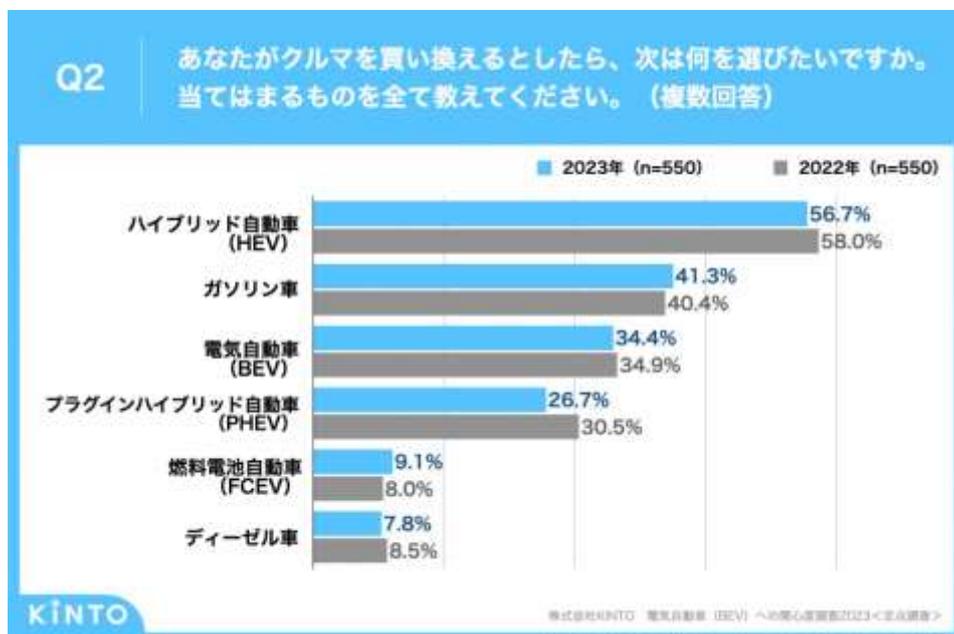
**Q1. 電気自動車（BEV）の保有率は11.8%で、昨年より3.6ポイントアップ。  
ガソリン車は保有率64.2%で5.1ポイントダウンの結果に**

現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心がある方に、現在保有しているクルマの種類を質問したところ、「ガソリン車」が64.2%、「ハイブリッド自動車（HEV）」が38.7%、「電気自動車（BEV）」が11.8%という回答となりました。



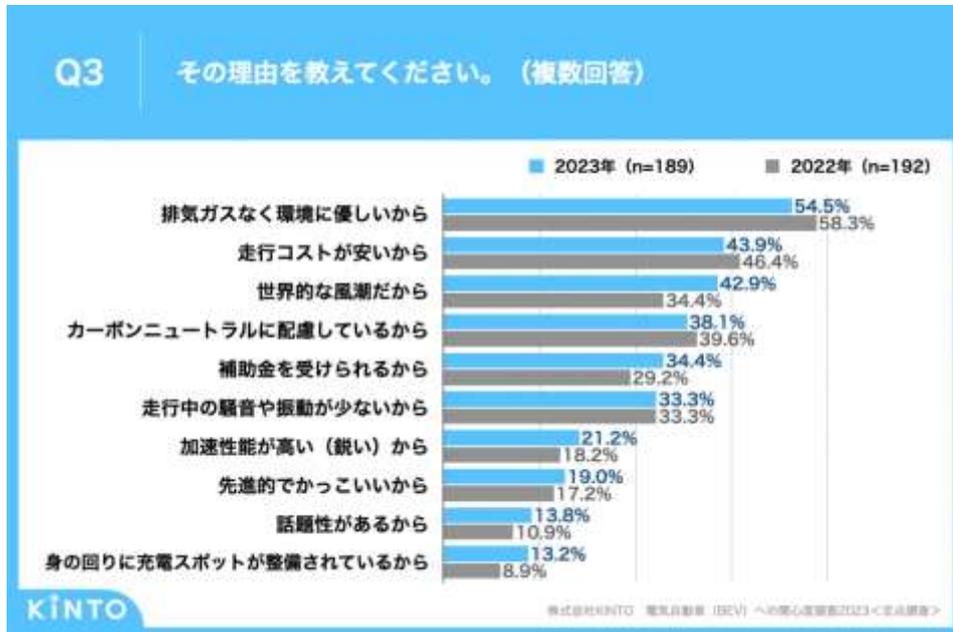
**Q2. 次に買い替えるとしたら、56.7%がハイブリッド車（HEV）、34.4%が電気自動車（BEV）を選択**

クルマを買い換えるとしたら、次は何を選びたいかを質問したところ、「ハイブリッド自動車（HEV）」が56.7%、「ガソリン車」が41.3%、「電気自動車（BEV）」が34.4%という回答となりました。昨年と大きくトレンドは変わらず、依然HEVの人気のうかがえます。



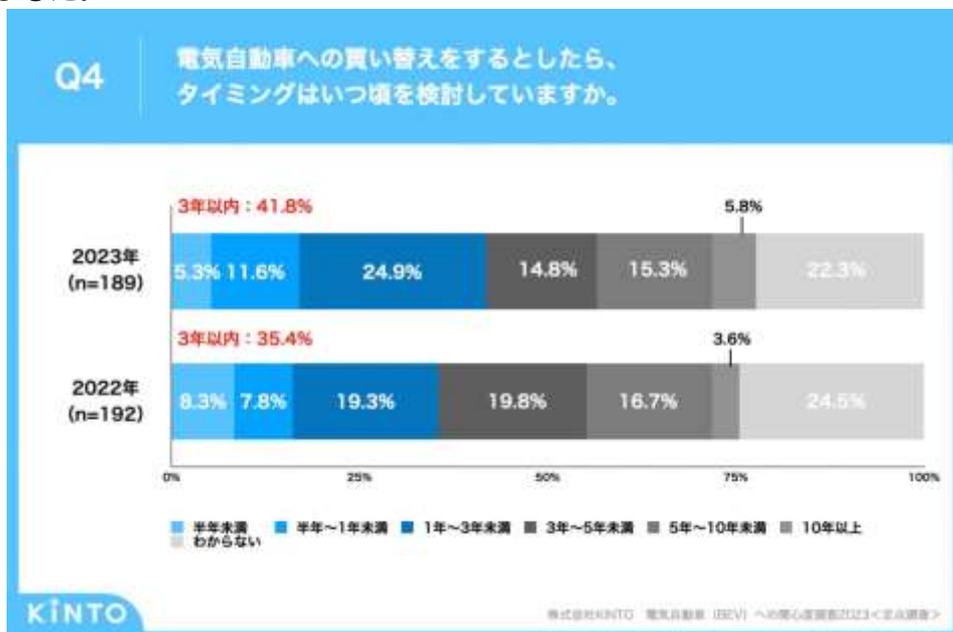
### Q3. 買い替える際に「電気自動車（BEV）」を選ぶ理由、昨年と変わらず「排気ガスなく環境に優しいから」（54.5%）が最多

Q2で「電気自動車」と回答した方に、その理由を尋ねたところ、「排気ガスなく環境に優しいから」が54.5%、「走行コストが安いから」が43.9%、「世界的な風潮だから」が42.9%という回答がトップ3となりました。さらに昨対比で伸びている項目に注目すると、「世界的な風潮だから」42.9%(+8.5%)、「補助金を受けられるから」34.4%(+5.2%)、「身の回りに充電スポットが整備されているから」13.2%(+4.3%)といったトレンドが読み取れます。



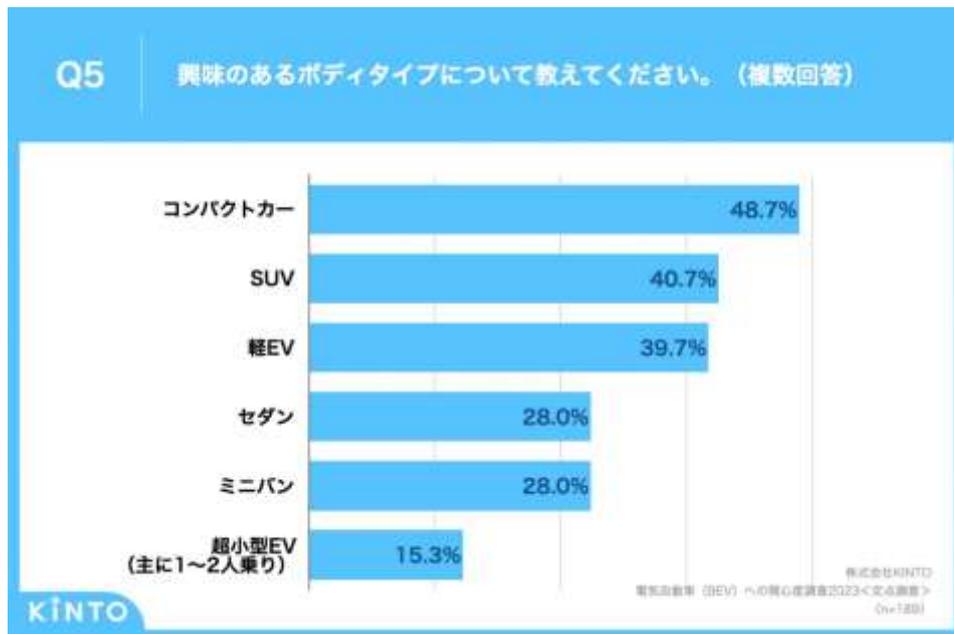
### Q4. 電気自動車への買い替え時期、41.8%が「3年以内」を想定、昨年の35.4%に対して6.4ポイントアップ

Q2で「電気自動車」と回答した方に、電気自動車への買い替えタイミングを質問したところ、「1年～3年未満」が最多の24.9%、3年以内を合計すると41.8%（昨対比+6.4%）という回答となりました。



### Q5. 興味のある電気自動車のボディタイプ、約半数が「コンパクトカー」と回答

Q2で「電気自動車」と回答した方に、興味のあるボディタイプを質問したところ、「コンパクトカー」が48.7%、「SUV」が40.7%、「軽EV」が39.7%という回答となりました。街乗りにも便利な軽・コンパクトタイプが電気自動車の人気の中心だと言えます。



### Q6. BEV人気車、第1位が「日産「サクラ(SAKURA)」に

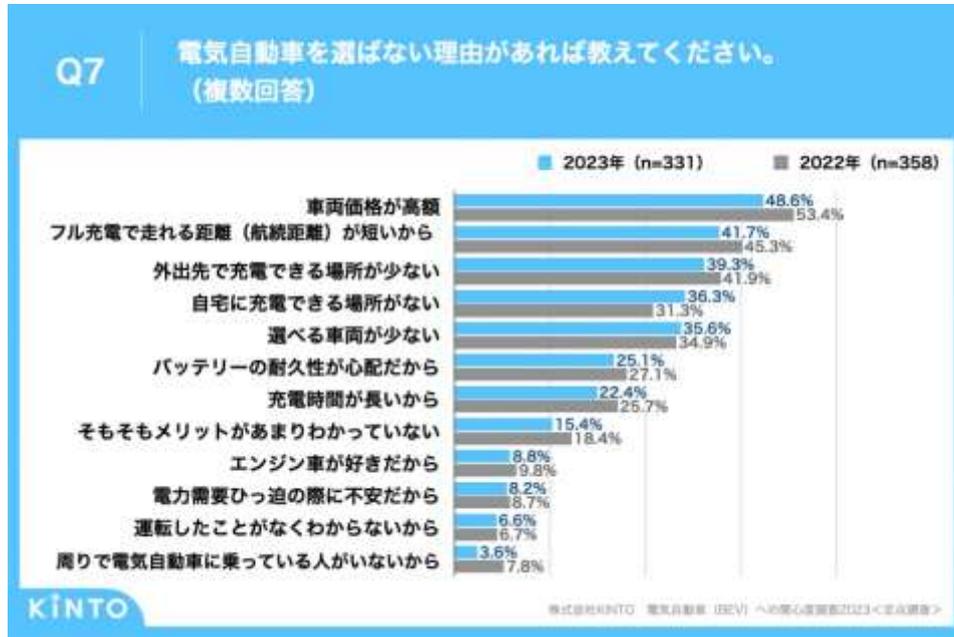
Q2で「電気自動車」と回答した方に、興味のある車名を伺ったところ、ベスト5は、「日産 サクラ(SAKURA)」が33.9%、「日産 リーフ(LEAF)」が32.8%、「日産 アリア(ARIYA)」が26.5%、「トヨタ bZ4X」が24.9%、「レクサス RZ」が19.6%となりました。



## Q7. クルマ買い替えで電気自動車を選ばない理由、昨年と同じく「車両価格が高額」が最多

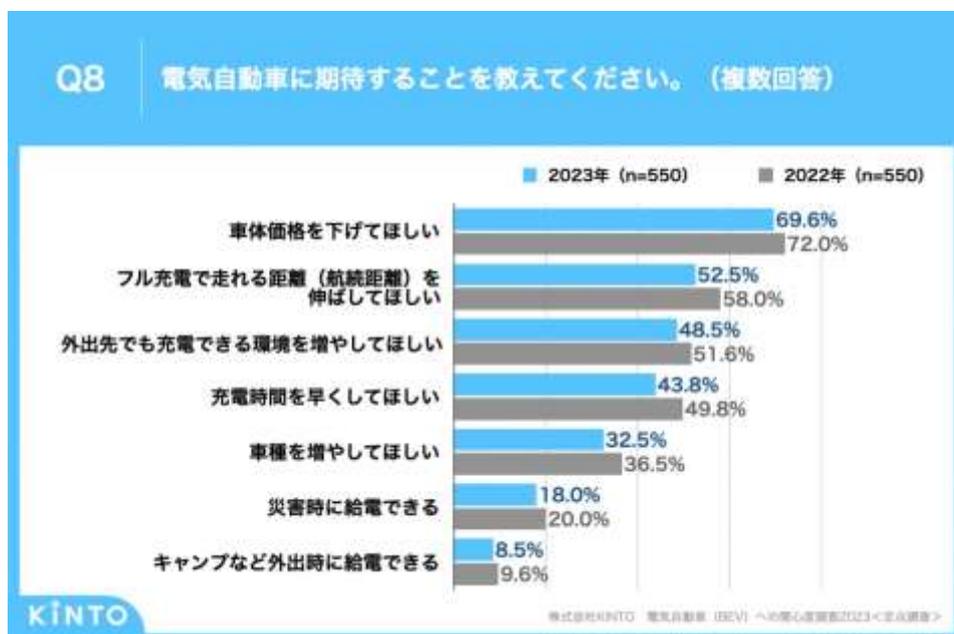
Q2で「電気自動車」以外を回答した方に、電気自動車を選ばない理由を質問したところ、「車両価格が高額」が48.6%、「フル充電で走れる距離（航続距離）が短いから」が41.7%、

「外出先で充電できる場所が少ない」が39.3%という回答となりました。全体的にポイントが昨年より緩和されている傾向にありますが、「自宅に充電できる場所がない」が5.2ポイント増の36.3%と大きく伸びている点が特徴です。



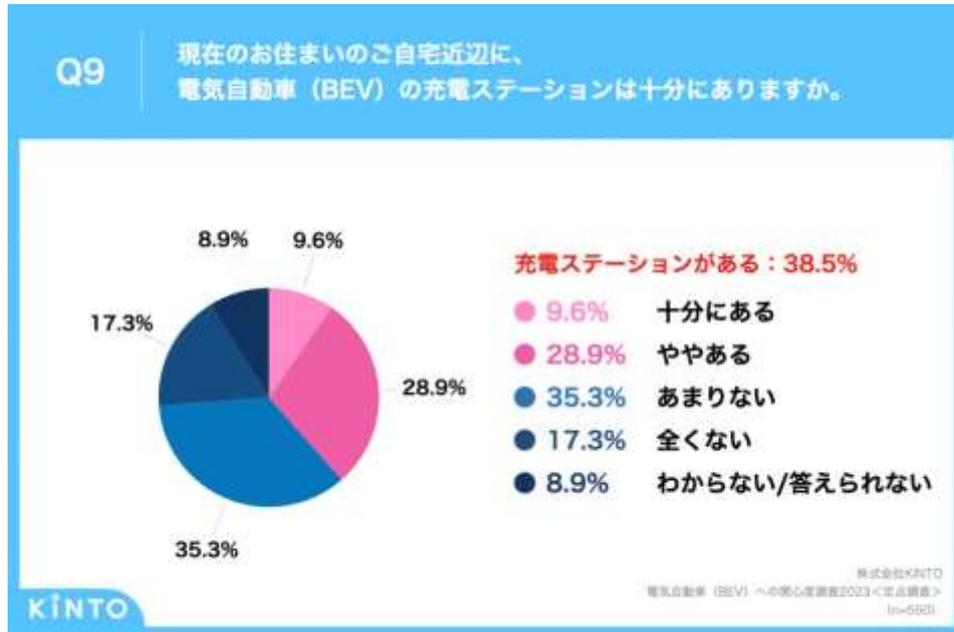
## Q8. 昨年に引き続き、約7割が電気自動車に「車両価格の値下げ」を期待

電気自動車に期待することを質問したところ、「車体価格を下げてほしい」が69.6%、「フル充電で走れる距離（航続距離）を伸ばしてほしい」が52.5%、「外出先でも充電できる環境を増やしてほしい」が48.5%という回答となりました。



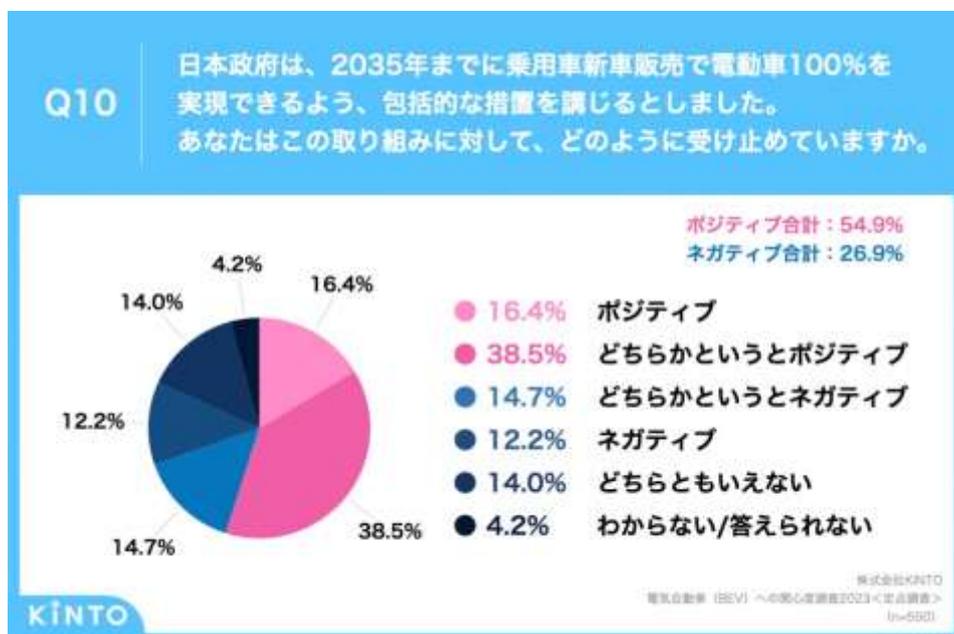
### Q9. 約4割が「自宅近辺に電気自動車の充電ステーションがある」と回答

現在お住まいのご自宅近辺に、電気自動車（BEV）の充電ステーションがあるか質問したところ、「十分にある」が9.6%、「ややある」が28.9%という回答となりました。自宅周辺へのBEV充電ステーションの普及は約4割と、まだ十分には整っているといえない状況だとわかります。



### Q10. 「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%実現」の取り組み、54.9%が「ポジティブ」、26.9%が「ネガティブ」な印象

日本政府は2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、その取り組みの一つとして、2035年までに乗用車新車販売で電動車100%を実現できるよう、包括的な措置を講じるとしています。この取り組みに対してどのように受け止めていますか、と質問したところ、「ポジティブ」が16.4%、「どちらかというポジティブ」が38.5%、「どちらかというネガティブ」が14.7%、「ネガティブ」が12.2%という回答となりました。

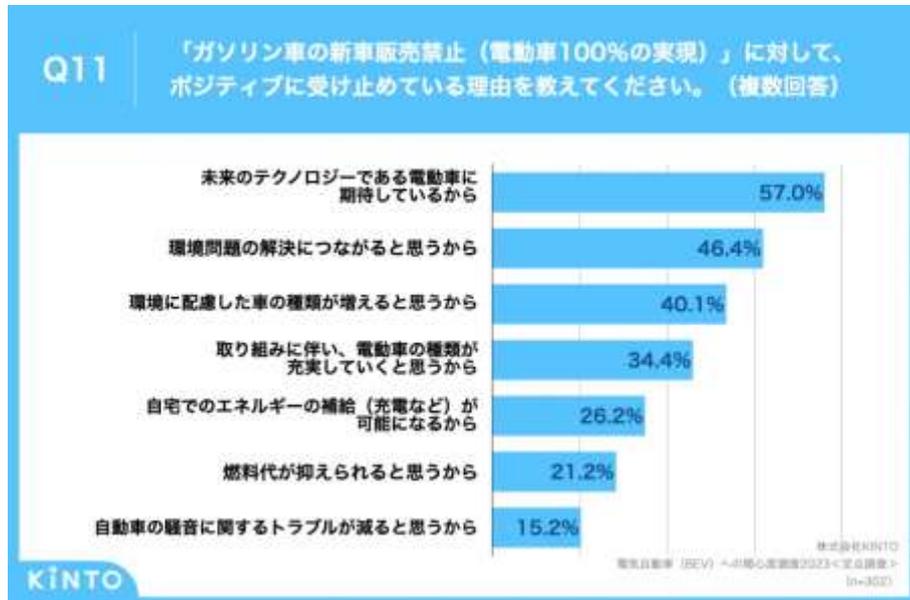


【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社KINTO 広報：岡部

<https://kinto-jp.com/customer/contact/corporation>

### Q11. ポジティブに受け止めている理由、約6割が「未来のテクノロジーである電動車に期待しているから」と回答

Q10で「ポジティブ」「どちらかというとならポジティブ」と回答した方に、「ガソリン車の新車販売禁止（電動車100%の実現）」に対して、ポジティブに受け止めている理由を聞いたところ、「未来のテクノロジーである電動車に期待しているから」が57.0%、「環境問題の解決につながると思うから」が46.4%、「環境に配慮した車の種類が増えると思うから」が40.1%という回答となりました。



### Q12. ネガティブに受け止めている理由、約半数が「充電に時間がかかるから」「バッテリー劣化による定期的な出費が増えると思うから」と回答

Q10で「ネガティブ」「どちらかというとならネガティブ」と回答した方に、「ガソリン車の新車販売禁止（電動車100%の実現）」に対して、ネガティブに受け止めている理由を聞いたところ、「充電に時間がかかるから」が47.3%、「バッテリー劣化による定期的な出費が増えると思うから」が45.9%、「車体価格が高騰すると思うから」が39.2%という回答となりました。



【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社KINTO 広報：岡部

<https://kinto-jp.com/customer/contact/corporation>

## ■まとめ

今回は、現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心があると回答した方550名を対象に、電気自動車（EV）への関心度調査2023〈定点調査〉を実施しました。

まず、電気自動車（BEV）の保有率は11.8%で昨年より3.6ポイント増加、ハイブリッド車（HEV）は38.7%で1.4ポイント増加したのに対し、ガソリン車は64.2%で5.1ポイント減少しました。34.4%が、次に買い替えるとしたら「電気自動車（BEV）」を選択したいと回答していますが、その理由については、昨年と変わらず「排気ガスなく環境に優しいから」（54.5%）が最多となっています。また、次に買い替えるとしたら「ハイブリッド車（HEV）」が56.7%で1位となり、依然としてHEVの人気も高いことがわかりました。

電気自動車を検討している人のうち、41.8%が買い替え時期を「3年以内」と想定しており、人気のボディタイプはコンパクトカー（48.7%）、車名は「日産 サクラ(SAKURA)」（33.9%）、「日産 リーフ(LEAF)」（32.8%）などが人気であることがわかりました。さらに、電気自動車に期待することとして、約7割から「車体価格を下げしてほしい」の声が挙がっています。最後に、日本政府が推進している「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%実現」の取り組みに対する印象を聞いたところ、54.9%が「ポジティブ」、26.9%が「ネガティブ」に受け止めているようです。

本調査では毎年、自動車保有しており、かつ環境問題に関心がある方に限って調査を実施していますが、その中では電気自動車の保有率が年々上昇している一方で、検討層は前年と横ばいの傾向。ただし検討している人の保有意向度は高まっている実態が明らかになりました。また、ハイブリッド車の人気が高く、電動車100%実現の取り組みをポジティブにとらえる人も多いことから、ガソリン車から電気自動車への移行は今後も徐々に進んでいくのではないでしょう。

### 【サービス概要】

#### KINTO ONE

自動車保険や自動車税など、クルマにかかる諸経費がコミコミ月々定額のクルマのサブスクリプションサービスです。人気のトヨタ車・レクサス車をラインアップ、高品質な中古車も取扱っています。WEBでも簡単にお申込みから契約まででき、気軽にカーライフを始められます。

さらに、「KINTO ONE」にクルマをお届けした後の「進化」と「見守り」を加えながらも、サブスクの月額利用料の引き下げを実現した「KINTO Unlimited」も2023年1月よりプリウスからスタートしました。

URL : <https://kinto-jp.com/>

### 【会社概要】

会社名：株式会社KINTO（KINTO Corporation）

設立：2019年1月

代表取締役社長：小寺信也

URL : <https://corp.kinto-jp.com/>

※文中に記載されている会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。